ボーリング柱状図

調査名　役場庁舎建設候補地地質調査業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

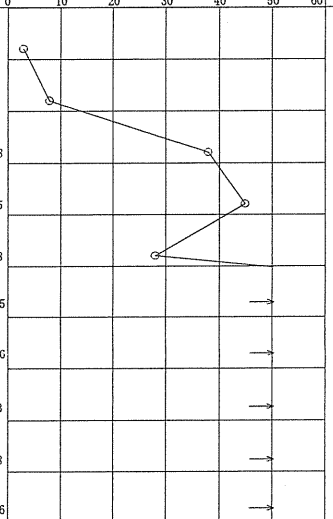
ボーリング名	本町No.1	調査位置	中川郡幕別町本町130番地					北緯	42° 54′ 26.6″
発注機関	幕別町役場			調査期間	平成 24年 5月 17日 ～ 24年 5月 18日			東経	143° 21′ 26.9″
調査業者名	株式会社 有賀さく泉工業 電話（0155-23-3363）	主任技師	石井 宏治	現場代理人	渡邊 博	コア鑑定者	渡邊 博	ボーリング責任者	遠藤 直樹
孔口標高	H=25.85m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 90° 0°	試錐機	TDC-21
総掘進長	10.00m							使用機種 エンジン	NFAD-12M
								ハンマー落下用具	半自動モンケン
								ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	25.45	0.40	0.40		盛土	灰	〃	〃	砂利。含水少。
1	24.85	0.60	1.00		有機質土	黒	非常に緩い	〃	旧表土。シルト質細砂状。含水少。礫混入。
	24.35	0.50	1.50		火山灰質砂	赤褐	〃	〃	細砂主体。ほぼ均一。含水少。
2	23.65	0.70	2.20		礫混じり火山灰質砂	灰褐	緩い	〃	細砂主体だがやや不均一。礫径2～30mm。最大礫径50mm。礫分20%前後。含水少。
3 4	21.05	2.60	4.80		砂礫	暗褐	密な	〃	基質は細～粗粒砂で含水多い。礫径2～30mm。最大礫径70mm前後。
5	20.35	0.70	5.50		凝灰質シルト	黄褐	〃	〃	上部で締まった細砂の薄層はさむ。やや固結している。含水少。全体に均質である。
6	19.35	1.00	6.50		亜炭	黒	非常に密な	〃	薄い板状で固結している。指圧で容易に割れる。
7 8	17.15	2.20	8.70		凝灰質砂	灰	非常に密な	〃	細粒砂主体で粒径ほぼ均一。含水中。凝灰質シルト層の薄層はさむ。
9	16.25	0.90	9.60		亜炭	黒	〃	〃	薄い板状に固結している。パリパリしており、指圧で容易に割れる。
10	15.85	0.40	10.00		凝灰質砂	灰	非常に密な	〃	亜炭及び凝灰質シルトの薄層はさむ。含水中。全体に細粒分主体だが、ところどころ中から粗粒砂主体の薄層はさむ。
11 12 13 14									

孔内水位(m)／測定月日：5/17 2.90

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
0.65	1	1	1	3/30	3
0.95	3	2	3	8/30	8
1.65					
1.95	11	13	14	38/30	38
2.65					
2.95	13	16	16	45/30	45
3.65					
3.95	13	9	6	28/30	28
4.65					
4.95	36	14/3		50/13	115
5.65					
5.78	39	11/1		50/11	136
6.65					
6.76	16	34/8		50/18	83
7.65					
7.83	15	24	11/2	50/22	68
8.65					
8.87	41	9/1		50/11	136
9.65					
9.76					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						5/17
						5/18

ボーリング柱状図

調　査　名　役場庁舎建設候補地地質調査業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

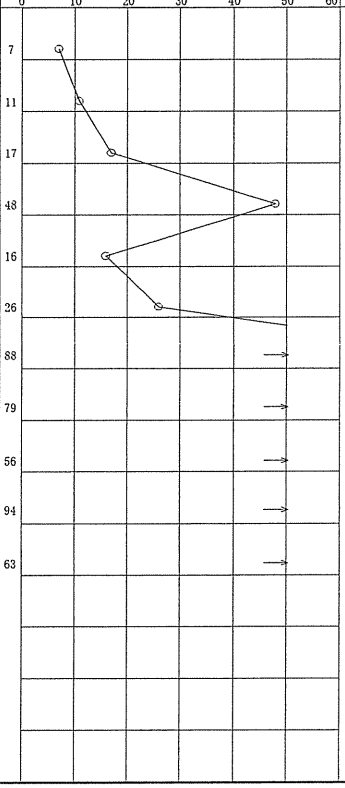
ボーリング名	本町No.2	調査位置	中川郡幕別町本町130番地			北緯	42° 54' 30.4"
発注機関	幕別町役場			調査期間	平成 24年 5月 17日 ～ 24年 5月 18日	東経	143° 21' 22.6"
調査業者名	株式会社 有賀さく泉工業 電話（0155-23-3363）	主任技師	石井 宏治	現場代理人	渡邊 博	コア鑑定者	渡邊 博
						ボーリング責任者	渡辺 慎次
孔口標高	H= 25.62m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°
総掘進長	11.00m					使用機種	試錐機 TEC-1 / ハンマー落下用具 半自動モンケン / エンジン NFD-12 / ポンプ -

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	25.42	0.20	0.20		盛土	灰	〃	〃	砂利。含水少。
1	24.42	1.00	1.20		有機質土	黒	緩い	〃	旧表土。上部礫混入。シルト質細砂状。含水少。
2	23.72	0.70	1.90		火山灰質砂	赤褐	〃	〃	細砂主体。ほぼ均一。含水少。
3	22.32	1.40	3.30		礫混じり火山灰質砂	灰褐	中ぐらい	〃	細砂主体だがやや不均一。礫径2～30mm。最大礫径50mm。礫分20%前後。含水少。
4	21.22	1.10	4.40		砂礫	暗褐	密な	〃	基質は細～粗粒砂で含水多い。礫径2～30mm。最大礫径70mm前後。
5	20.52	0.70	5.10		凝灰質砂	黄褐	ぐい中ら	〃	細粒砂主体。含水中。
6	19.62	0.90	6.00		凝灰質シルト	暗灰	〃	非常に硬い	上部で締まった細砂の薄層はさむ。やや固結している。含水少。全体に均質である。
	19.02	0.60	6.60		亜炭	黒	〃	〃	薄い板状で固結している。指圧で容易に割れる。
7 8	16.92	2.10	8.70		凝灰質砂	灰	非常に密な	〃	細砂主体でほぼ均一。含水少ない。
9					亜炭	黒	非常に密な	〃	凝灰質砂岩の薄層挟む。薄板状に固結している。
10	15.42	1.50	10.20		凝灰質砂	暗褐灰	非常に密な	〃	細砂分主体で、やや不均一。亜炭の薄層多く挟む。
11	14.62	0.80	11.00						
12									
13									
14									

孔内水位(m)／測定月日：5/17 3.85

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
0.65	3	2	2	7/30	7
0.95 1.65	2	4	5	11/30	11
1.95 2.65	5	6	6	17/30	17
2.95 3.65	13	15	20	48/30	48
3.95 4.65	4	5	7	16/30	16
4.95 5.65	6	9	11	26/30	26
5.95 6.65	24	26/7		50/17	88
6.82 7.65	17	33/9		50/19	79
7.84 8.65	13	16	21/7	50/27	56
8.92 9.65	22	28/6		50/16	94
9.81 10.65	11	20	19/4	50/24	63
10.89					



原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						5/17
						5/18

ボーリング柱状図

調　査　名　役場庁舎建設候補地地質調査業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	本町No.3	調査位置	中川郡幕別町本町130番地			北緯	
発注機関	幕別町役場			調査期間	平成 24年 5月 21日 ～ 24年 5月 21日	東経	
調査業者名	株式会社 有賀さく泉工業 電話（0155-33-3363）	主任技師	石井 宏治	現場代理人	渡邊 博	コア鑑定者 渡邊 博	ボーリング責任者 遠藤 直樹
孔口標高	H=25.81m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°
総掘進長	10.00m	使用機種		試錐機	TDC-21	ハンマー落下用具	半自動モンケン
				エンジン	NFAD-12M	ポンプ	

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	24.91	0.90	0.90	有機質土	黒	'	軟らかい	表土層。植物根混入。砂質シルト。
1	24.61	0.30	1.20	火山灰質砂	褐灰	'	'	細砂主体。含水少ない。ほぼ均一。
	24.11	0.50	1.70	礫混じり火山灰質砂	灰褐	'	'	細砂主体でやや不均一。礫径2～50mm。含水少。
2								
3								
4								
	20.91	3.20	4.90	砂礫	暗褐	密な	'	基質は細～粗粒砂。含水中程度。礫径2～30mm。最大礫径70mm前後。
5								
	19.51	1.40	6.30	亜炭	黒	非常に密な	'	薄く板状で固結している。指圧で容易に割れる。
6								
7				凝灰質砂	灰	密な	'	細砂主体。粗粒分の多い薄層挟む。含水中程度。
	17.81	1.70	8.00					
8								
9				亜炭	黒～黒褐	非常に密な	'	薄い板状で固結している。含水少ない。凝灰質シルトの薄層挟む。
	15.81	2.00	10.00					
10								
11								
12								
13								
14								

孔内水位(m)／測定月日：5/21 4.30

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
0.65	1	1	1	3/30	3
0.95					
1.65	5	6	8	19/30	19
1.95					
2.65	10	13	9	32/30	32
2.95					
3.65	10	14	14	38/30	38
3.95					
4.65	11	13	5	29/30	29
4.95					
5.65	13	15	22/9	50/29	52
5.94					
6.65	9	10	16	35/30	35
6.95					
7.65	11	9	14	34/30	34
7.95					
8.65	21	29/9		50/19	79
8.84					
9.65	50/8			50/8	188
9.73					

原位置試験

深度(m)	試験名および結果

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：5/21

ボーリング柱状図

調　査　名　役場庁舎建設候補地地質調査業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	本町No．4	調査位置	中川郡幕別町本町130番地					北緯	42° 54′ 30.2″
発注機関	幕別町役場			調査期間	平成 24年 5月 18日 ～ 24年 5月 19日			東経	143° 21′ 21.1″
調査業者名	株式会社 有賀さく泉工業 電話（0155-23-3363）	主任技師	石井 宏治	現場代理人	渡邊 博	コア鑑定者	渡邊 博	ボーリング責任者	遠藤 直樹
孔口標高	H=22.62m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 TDC-21 / ハンマー落下用具 半自動モンケン
総掘進長	9.00m								エンジン NFAD-12M / ポンプ

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1 2	19.82	2.80	2.80		盛土	暗褐～褐灰	非常に緩い～緩い	〃	火山灰質砂、礫及び有機質土で構成。礫径2～50mm。含水少ない。
3	19.12	0.70	3.50		礫混じり火山灰質砂	黄褐	〃	〃	細粒砂主体でやや不均一。礫径2～30mm。礫分10%程度。含水少ない。
	18.82	0.30	3.80		有機質土	黒	〃	〃	シルト質細砂状。含水中。
4	18.12	0.70	4.50		凝灰質砂	灰	〃	〃	細～中粒でやや不均一。含水多い。
	17.92	0.20	4.70		亜炭	黒	〃	〃	薄板状に固結している。パリパリしており指圧で割れる。
5 6	16.02	1.90	6.60		凝灰質砂	緑灰	非常に密な	〃	細粒主体でほぼ均一。含水中。凝灰質シルトの薄層挟む。
7	15.62	0.40	7.00		亜炭	黒	非常に密な	〃	薄板状に固結している。指圧で容易に割れる。凝灰質シルトの薄層挟む。
	15.32	0.30	7.30		凝灰質砂	暗灰	〃	〃	細粒砂主体でほぼ均一。
8	14.32	1.00	8.30		亜炭	黒褐	非常に密な	〃	薄板状態で固結している。指圧で容易に割れる。凝灰質シルトの薄層挟む。
9	13.62	0.70	9.00		凝灰質シルト	暗灰	〃	固結した	粘性弱。含水少。ほぼ均一である。亜炭の薄層挟む。
10 11 12 13 14									

孔内水位(m)／測定月日：5/18 3.30

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
0.65	2	2	2	6／30	6
0.95 1.65	1／20	1		2／30	2
1.95 2.65	1	1	2	4／30	4
2.95 3.65	4	3	5	12／30	12
3.95 4.65	20	30／8		50／18	83
4.83 5.65	11	13	18	42／30	42
5.95 6.65	13	27	10／1	50／21	71
6.86 7.65	37	13／3		50／13	115
7.78 8.65	16	34／8		50／18	83
8.83					

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						5/18
						5/19

ボーリング柱状図

調査名　役場庁舎建設候補地地質調査業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

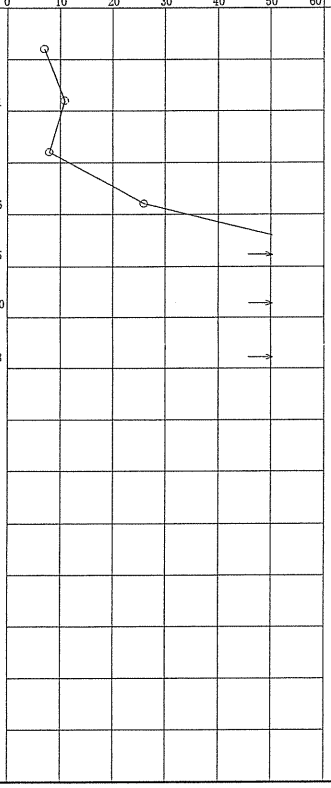
ボーリング名	本町No.5	調査位置	中川郡幕別町本町130番地			北緯	42° 54′ 30.6″
発注機関	幕別町役場			調査期間	平成 24年 5月 18日 ～ 24年 5月 18日	東経	143° 21′ 19.8″
調査業者名	株式会社 有賀さく泉工業 電話（0155-23-3363）	主任技師	石井 宏治	現場代理人	渡邊 博	コア鑑定者	渡邊 博
						ボーリング責任者	渡辺 慎次
孔口標高	H=21.15m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°
総掘進長	7.00m	使用機種	試錐機	TDC-21	ハンマー落下用具	半自動モンケン	
			エンジン	NFAD-12M	ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	19.55	1.60	1.60		盛土	褐灰黒～暗灰	緩い	〃	火山灰質砂、礫及び有機質土で構成。礫径2～20mm。含水少ない。
2	19.25	0.30	1.90		有機質土	黒	〃	〃	シルト質細砂状。径10mm以下の円礫少量混入。
3	18.00	1.25	3.15		砂礫	暗灰	緩い	〃	基質は粗粒砂で不均一。礫径2～50mm。礫分50%程度。含水多い。
4	16.45	1.55	4.70		凝灰質砂	灰	中ぐらい	〃	粗粒砂主体で不均一。含水多い。
5					亜炭	黒	非常に密な	〃	薄板状に固結している。パリパリしており指圧で割れる。凝灰質砂の薄層挟む。
6	14.85	1.60	6.30						
7	14.15	0.70	7.00		凝灰質砂	暗灰	非常に密な	〃	細粒主体でほぼ均一。含水中。粗粒砂主体の薄層挟む。

孔内水位(m)／測定月日：5/18 1.35

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
0.65	2	3	2	7/30	7
0.95	2	4	5	11/30	11
1.65					
1.95	3	3	2	8/30	8
2.65					
2.95	7	8	11	26/30	26
3.65					
3.95	9	21	20/3	50/23	65
4.65					
4.88	25	25/5		50/15	100
5.65					
5.80	14	20	16/6	50/26	58
6.65					
6.91					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						5/18